

## 「子育ての悩み」アンケート結果について

厚生労働省の調査によると、5歳児健診を実施している市町村において発達障害の疑いがあるとされた幼児の比率は8.2%と高く、そのうち医療機関を受診した幼児の67%は3歳児健診において「様子を見る」等の助言はありましたが、特に問題を指摘されることがありませんでした。

しかしながら、幼稚園やこども園においては、発達障がい疑われるが判断ができない「気になる子」が増加しています。

そこで、当連合会では、幼児期的人格形成の最も重要な時期において3歳児健診後は就学時健診まで健診の機会がないことを踏まえ、5歳児健診の重要性を明らかにすることを目的として、郡山市内の全私立幼稚園と認定こども園（33園）の保護者と幼稚園教諭に、子育ての悩みや発達障がいに関する認知・理解などについてのアンケート調査を行いました。

このアンケート調査結果に基づき、平成29年11月に郡山市に対して「5歳児健診の実施について」要望しました。

ご協力をいただきました保護者の皆様にお知らせしますとともに、広く市民の皆様にもご理解とご支援をお願いしたいと考え、連合会ホームページに掲載させていただきました。

平成 30 年 3 月 13 日

各幼稚園・認定こども園保護者 様

郡山市私立幼稚園・認定こども園連合会長 平栗裕治  
同 幼児教育センター長 安斉悦子  
同 広報委員長 鈴木則子

### 子育てについてのアンケート調査結果について

早春の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。さて、本年 2 月に皆様にご協力いただきました「子育てについてのアンケート」の結果がまとまりました。

つきましては、その概要についてお知らせいたしますとともに、子育てに関する悩みや不安の解消に努めるべく、学習機会の設定や発達支援のネットワークづくりに努めてまいりますので、今後の皆様のご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます、御礼とさせていただきます。

### 記

#### 1 調査実施期間

平成 29 年 2 月 10 日～平成 29 年 3 月 10 日

#### 2 アンケート調査票の回収状況

保護者の皆様の回答件数：4,465 件（対象：5,380 件）

有効回答率：83%

#### 3 調査結果の公表について

調査結果の要約は別添の調査結果集計表、グラフのとおりですが、今後、郡山市私立幼稚園・認定こども園連合会のホームページにも 4 月より掲載する予定です。

※個人情報については一切公表いたしません。

# 子育てについてアンケート調査の結果 (保護者様用)

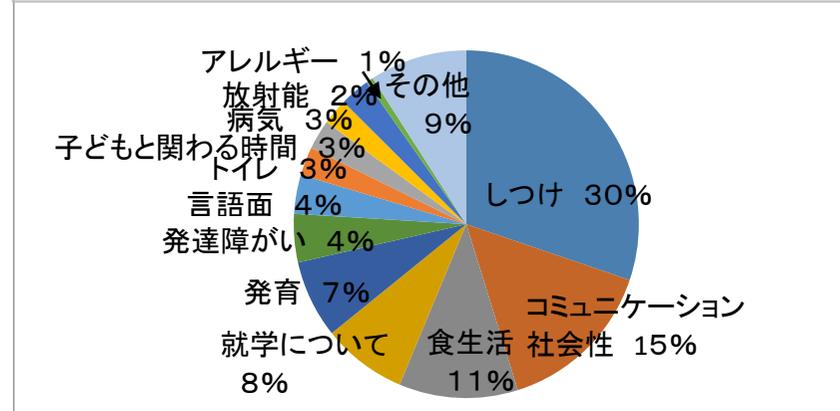
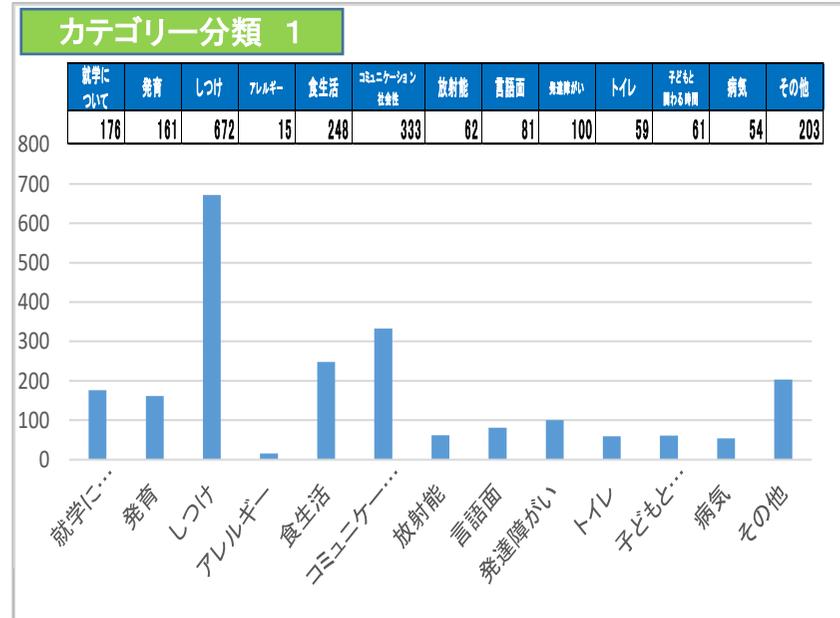
【対象】 郡山市内幼稚園在籍

保護者5,380人 回答者4,465人 **回答率83%**

(平成29年2月1日現在)

## (1) 子育てについての悩み

カテゴリー 1	カテゴリー 2	カテゴリー 3	例
1	しつけ	育て方全般	・育て方やしつけ方、怒らなくて良い育て方
		育て方	・挨拶など基本的なしつけ・食事、片付け、歯磨きなど
		自立心	・自分の意思を表現するのが苦手
	接し方(困り感)	赤ちゃん返り・兄弟げんか(弟や妹への嫉妬)	・姉妹の口喧嘩(言い合いが長い)・赤ちゃん返り(弟への嫉妬)
		粗暴・反抗・癪癖(言葉づかい、態度が悪い)	・気に入らないことがあると暴言や蹴ったりする・癪癖持ちで対応の仕方に悩む
		子どもの要求をどこまで受け入れるか	・お菓子やゲームをどれくらい制限したらよいか悩む・何度言っても同じことを繰り返す
褒め方・叱り方		・その時々への対応の仕方・子どもにどう言ったら伝わるのか	
褒め方・叱り方		・叱り方がきつときがある・叱り方褒め方が上手くできない	
その他		・指しゃぶりがやめられない	
2	コミュニケーション	友達関係	・友達と上手に遊べているか・言いたいことが言えない
		人見知り	・人見知りや他人となかなか話せない・家ではよく話す、外では話さない
		性格	・子どもの性格のこと・自発性がありみられない
		集団生活	・集団生活に適応できているか・気分が乗らないとみんなと一緒に活動しない
		話が聞けない	・注意されていることを理解していない・人の意見を受け入れない
		その他	・言い訳や困った行動をする・目上の人に対しての言葉遣い
3	食生活	偏食(好き嫌い含む)	・食べ物の好き嫌いが多く
		食が細い	・食が細く痩せているので栄養面が心配
		食事・食生活	・バランスの良い食事・ご飯よりもお菓子を食べてがる
		その他	・食育について・卒乳が出来ない
		その他	
4	就学について	生活面	・小学生の生活ができるかどうか・小学校に上手くなじめるのか
		学習面	・学習面をしっかり見てあげられるか・学習の進め方
		習い事	・習い事や教育に対して不安・習い事をさせた方が良いのか
		友達関係	・小学校での友だちとの関わり
		その他	・小学校の学区について・小学校選び
5	発育		・発育の程度・発達に凸凹があるところ・低身長
6	発達障がい		・発達障がいと診断された
7	言語面		・言葉の遅れがある・子どもの活舌が悪い
8	放射線問題		・放射線による健康被害が心配・放射線問題によるいじめ
9	子どもとかわる時間		・親が仕事をしているため、一緒に過ごす時間が短く寂しい思いをしているのではないか
10	トイレ		・トイレトレーニングが上手いかわない
11	病気		・病気や感染症への不安・熱が出たとき・チック症
12	アレルギー		・食物アレルギー・アトピー性皮膚炎
13	その他		・経済的な問題・ゲームとの付き合い方



子育てについての悩みは多岐にわたり、保護者の方々が試行錯誤しながら子育てに励んでいる様子が記述内容からうかがえます。

また、悩みの背景には核家族・少子化などによる家庭環境によって様々であるが、子どものしつけに対する悩みは全体の30%と高い割合を占めています。

これらの回答から、保護者支援の重要性が明らかとなりました。今後地域・教育機関・行政が連携をはかり保護者を対象とした子育ての勉強会や子育て相談窓口の拡充など、保護者支援の在り方が問われる結果となりました。

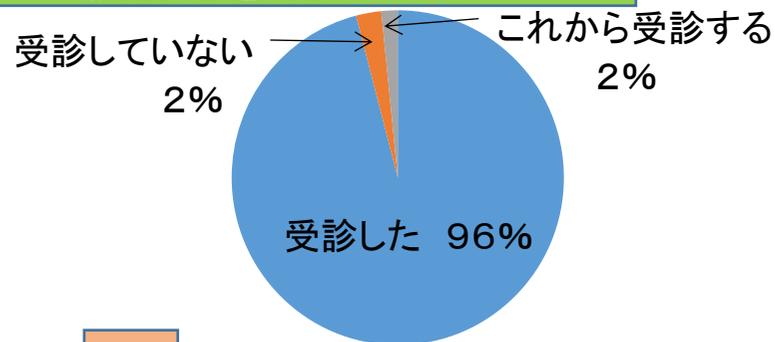
子どものしつけに対して悩んでいる人数 **672人**

しつけを分類すると**接し方・育て方**で悩んでいる保護者が**69%**を占めています。

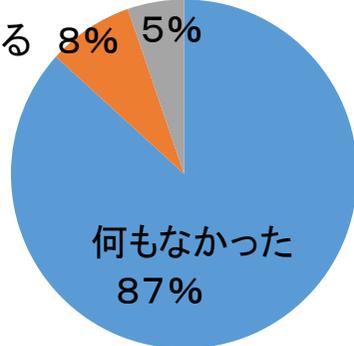
接し方	育て方	褒め方叱り方
43%	26%	23%

## (2) 3歳児健診について

3歳児健診を受診しましたか？



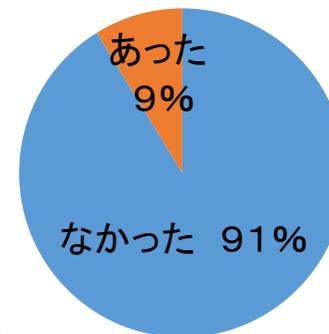
話しがあった  
様子を見る



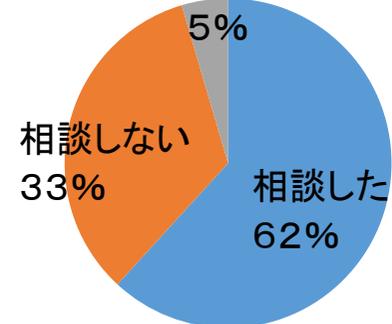
3歳児健診  
で何かお話  
がありましたか？

## (3) 就学時健診について

就学時健診で何か話がありましたか？



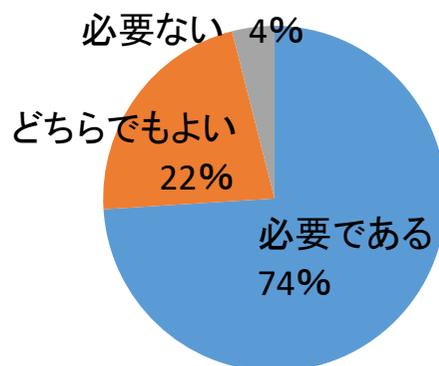
予約をした



専門機関に相談  
をしましたか？  
(就学時健診で  
話があった方)

## (4) 5歳児健診健診は必要かについて

5歳児健診は必要ですか？(発達障がいに悩みを持つ保護者)



発達に悩ま  
ない保護者

5歳児健診の  
必要性の割合

50%前後

5歳児健診の必要性については、何らかの診断を受けている保護者の方や子どものしつけ方で悩んでいる保護者の方々が、5歳児健診の必要性を感じていました。

特性を持った子どもたちに大切なことは、一人ひとりに合わせた支援が不可欠であり、専門機関・地域・教育機関・保護者の方々が連携し、より良い就学につなげる必要があると感じます。

また、就学時健診において、何らかの指摘があっても、専門機関に繋がらない実態(33%)を踏まえ、早期発見・早期支援が子どもたちの良き育ちに繋がるよう幼稚園と保護者の皆さまが連携をはかり学ぶ機会が必要であり、今後の課題となると考えます。

# 子育てについてのアンケート調査結果について

郡山市私立幼稚園・認定こども園連合会

## 1 調査の目的

近年、幼稚園において発達に関する問題を指摘される幼児が増加している。2005年に施行された「発達障害者支援法」では、地方公共団体の責務として発達障がい  
の早期発見と早期支援が求められるようになり、施行後 10 年を経過した中、発達障  
がいに対する認知と理解が高まりつつあります。

また、3 歳児健診において、発達の支援が必要であると診断される幼児が増加して  
おり、更には明確な診断はないが、発達障がい疑われる「気になる子」も増加傾  
向にあります。

郡山市内の幼稚園においても、「障がいの診断を受けている子」や障がいが疑われ  
る「気になる子」が増加しています。

このアンケート調査は、幼児期の人格形成の最も重要な時期において 3 歳児健  
診後は就学時健診まで健診の機会がないことを踏まえ、5 歳児健診の重要性を明  
らかにすることを目的として実施したものです。

## 2 調査実施期間

平成 29 年 2 月 10 日～平成 29 年 3 月 10 日

## 3 調査対象

郡山市内 33 か所の幼稚園の保護者	5,380 人
同上 幼稚園教諭	33 園

## 4 調査方法

郡山市内 33 か所の幼稚園から全園児の保護者に年齢別のアンケート用紙を直  
接配付し回収した。また、各幼稚園にも教諭用のアンケートを配布し回収した。

## 5 回収状況

保護者の回答数:4,465 人

有効回答率:83%

幼稚園教諭の回答数:32 園

有効回答率:97%

## 6 アンケート結果

今回のアンケートでは、郡山市内の全私立幼稚園(33 園)保護者と幼稚園に、子育ての悩みや発達障がいに関する認知・理解などについて調査しました。

### (1)子育ての悩みについて(資料 1・2)

最も割合が高かったのは、「子どものしつけ」に関する悩みで全回答数の 30% (672 件)、次いで、「子どものコミュニケーション・社会性」に関する悩みで 15% (333 件)という結果でした。その他の悩みとしては、「子どもの性格」、「夫の育児不参加」、「嫁姑問題などの家庭環境の悩み」が多く、母親の育児に対する過重な負担が問題として浮き彫りになりました。

### (2)発達障がいに関する認知・理解、対応状況等について(資料 3・4・5)

保護者への調査結果は、3 歳児健診で発達障がいに関する「何らかの話があった」件数と「様子を見る」件数を合わせると、全体の 13%(回答数 4,288 件のうち 557 件)となっており、かなり高い割合で指摘を受けていることがわかりました。指摘の主な内容は、「言語の発達」が 68%、「体の発達」が 24%等となっています。

また、その結果を受けて専門機関に「相談した」が 58%、「相談しなかった」が 36%、「検討中」が 6%となっています。このうち「相談した」が 58%に留まっている要因としては、保護者の発達障がいに関する認知・理解の不足、情報の不足等が大きいと考えられます。

### (3)幼稚園生活において気になる行動調査について(資料 6・7・8)

幼稚園教諭に対する調査では、日々の保育観察において満 3 歳・3 歳児の気になる行動例として、「他の子と違うと感じる」、「注意・集中力の欠如、多動」、「言語理解が乏しい」などの回答が多くあり、全園児の約 10%~12%にも及びますが、これらの気になる行動について、家庭において理解している保護者は約 5%にすぎないのが現状です。

また、4・5 歳児においては、気になる行動として「社会性・コミュニケーション面」が 28%と最も高く、次いで、「認知・言語面」が 24%となっており全体に占める比率が高くなっています。

#### (4) 就学時健診について(調査 9・10)

就学時健診該当者 1,894 人のうち 1,596 人から回答があり、そのうちの 9%にあたる 144 人が何らかの指摘を受けていることがわかりました。健診の結果を受けて「専門機関に相談した」は 62%、「専門機関に予約をした」が 5%、そして「相談しない」が 33%となっています。

これらの指摘を受けた保護者の悩みについては、「発達障がい」が最も多く 24%、次いで、「しつけ」、「コミュニケーション能力」がそれぞれ 19%となっており、発達障がいに対する不安が特に大きいことがわかります。

#### (5) まとめ

以上のことを子どもの発達段階に応じてみると、次のような結果が見えてきます。保護者からの回答で、3 歳児健診時に「何らかの指摘を受けた」のは 13%、幼稚園において「気になる行動をする園児」は満 3 歳児で 10%、3 歳児で 12%、そして、就学時健診において「何らかの指摘を受けた」割合は 9%となっており、3 歳児健診及び幼稚園おける保育観察と就学時健診の指摘の割合とでは 4%の差が出ています。

これらの園児が、問題を抱えたまま就学に至っている可能性があると考えられます。しかしながら、保護者による「子どもの気になる行動」の理解度は、満 3 歳児については 5%、3 歳児については 6%であり、上記の 3 歳児健診結果や各幼稚園の観察とは大きな開きがあります。

国立特別支援教育総合研究所研究紀要第 37 巻(2010)によると、発達障害のある子どもは、早期から発達段階に応じた一貫した支援を行っていくことが重要であり、早期発見早期支援の重要性は極めて高い。この時期に適切な支援を受けられないと、就学後の学習面や生活面に様々な困難を抱えることが多くなり、また情緒不安や不適応行動等の二次障がいが生じてしまうこともある。

しかしながら、法定健診は、3 歳児健診までであり、その後はいわゆる就学時健診まで義務付けられた健診はない。3 歳児以降に幼稚園に入園し、集団生活の中で

発達障がいの特徴による困難さが見えてくることも多いことから、3～5歳児前後の時期に何らかの発達障害に関する気づきや発見、支援のシステムが必要であると考えられるとされています。

発達障がいについては、保健師や幼稚園、保育所の担当者等がその可能性に気づいても、適切に判断することは難しく、保護者にとっては年少であればあるほど障がいの受け入れ(認知・理解)が困難な時期でもあると考えられますが、今回の調査では、就学時健診で指摘のない保護者と、何らかの指摘を受けた保護者とでは「5歳児健診」の必要性の回答には大きな差があり、発達障がいに悩みを持つ保護者のうち75%が「5歳児健診」の必要性を強く訴えています。(資料11)

以上のことから、就学時健診に至る前の重要な時期に5歳児健診を実施することにより、医師等の専門家による早期発見と早期支援体制を強化し、一人一人の子どもとその保護者のニーズに応じた子育て支援を行うことが必要であると考えます。

※ この調査は平成28年度の調査であるため、文中の記載を幼稚園33園としました。

※ 平成29年4月より認定こども園への移行幼稚園があり、郡山市私立幼稚園・認定こども園連合会へと名称変更となりました。

※ この調査資料に関する無断使用及び転載は固くお断りいたします。

**【問合せ先】**

〒963-0541 福島県郡山市喜久田町堀之内字下河原 7-2  
郡山市私立幼稚園・認定こども園連合会事務局  
TEL.024-959-6750  
FAX.024-959-6762  
Email アドレス info@koriyama-yochien.jp

# アンケート調査統計

【対象】(平成29年2月1日現在)

- ・ 郡山市内幼稚園 保護者5,380人 回答者4,465人

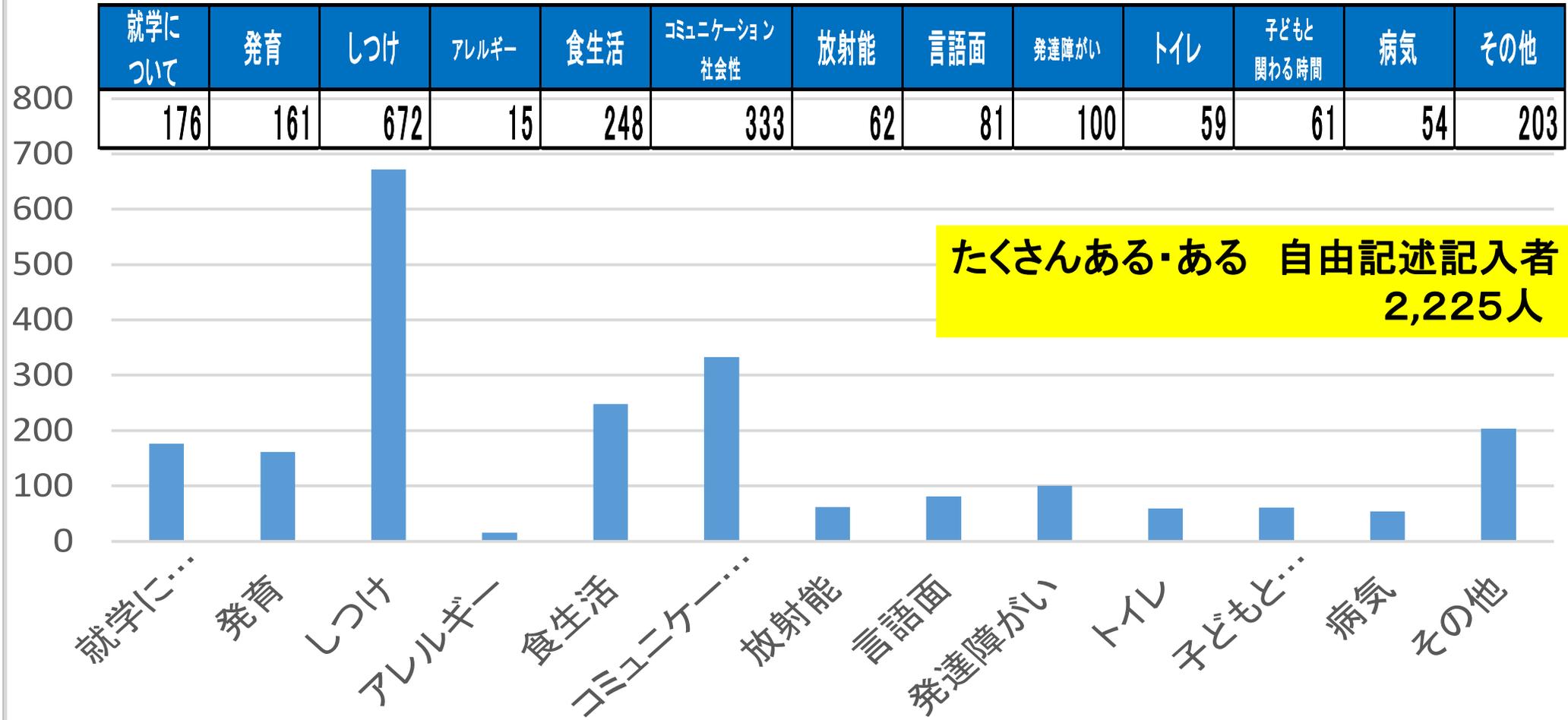
回答率83%

- ・ 郡山市内幼稚園 教諭 33園 回答園 32園

回答率97%

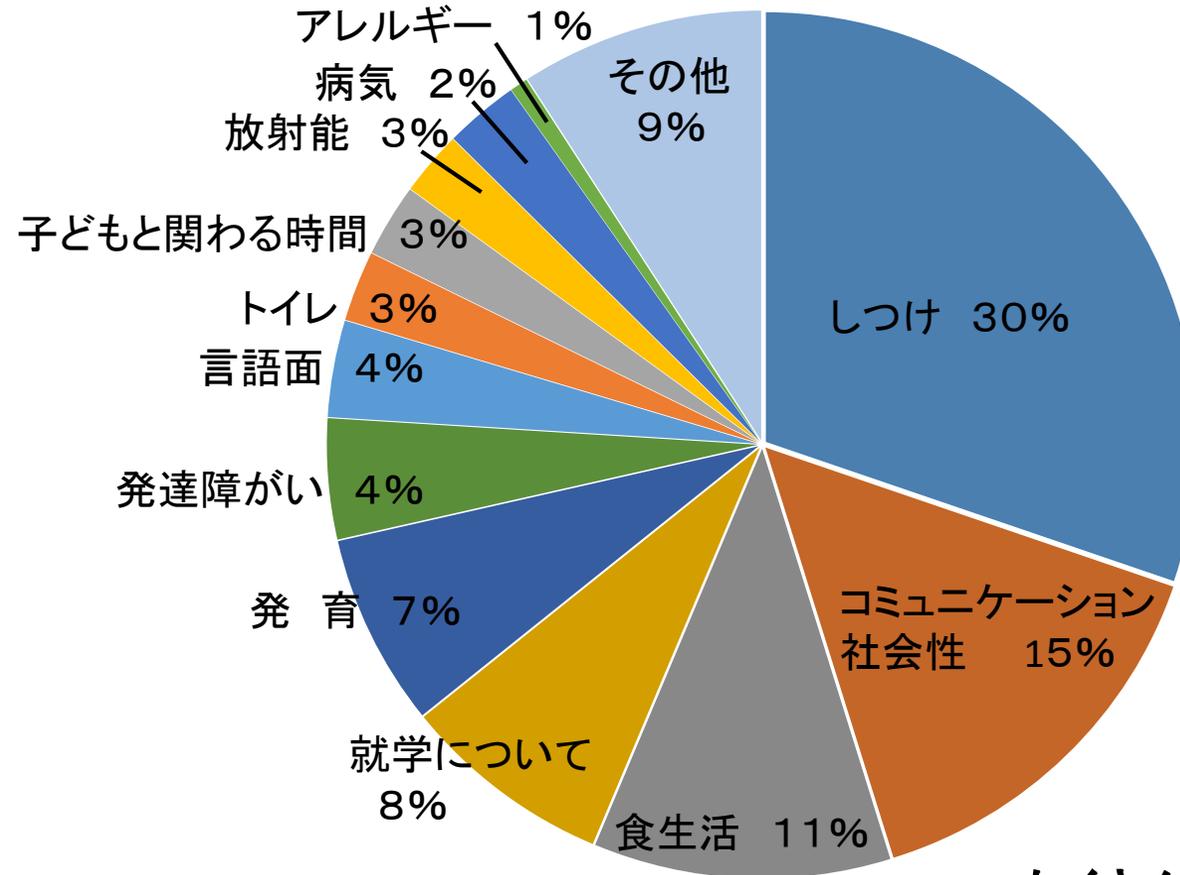
# 資料 1

## 子育ての悩み ある・たくさんある(保護者)



## 資料 2

# 悩みの割合(保護者)

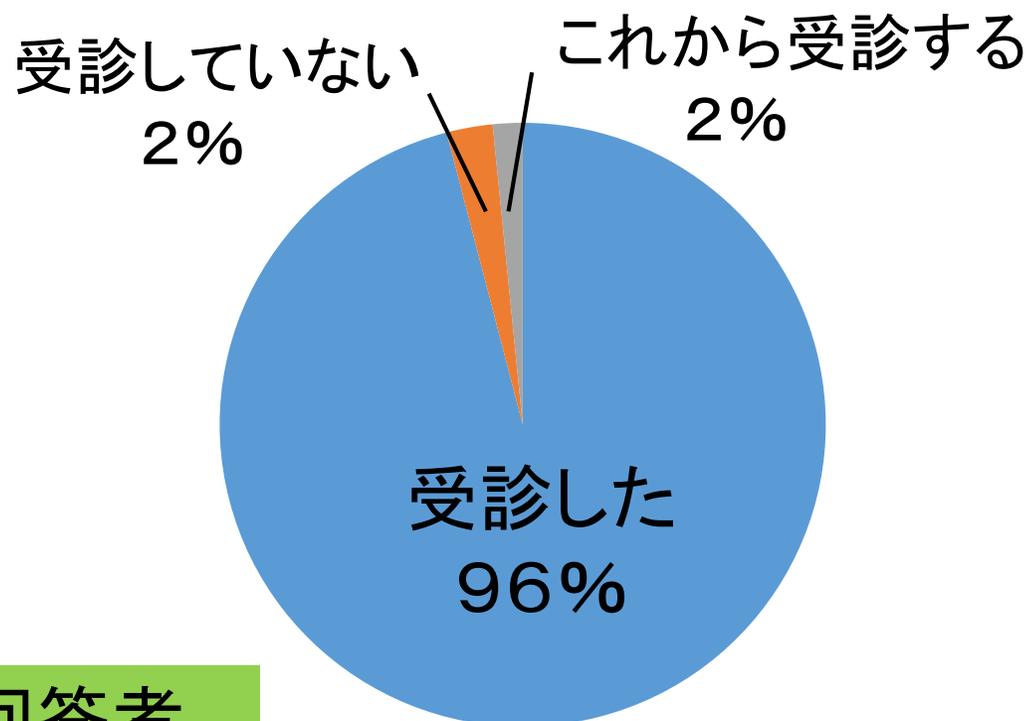


たくさんある・ある 自由記述記入者  
2,225人

### 資料 3

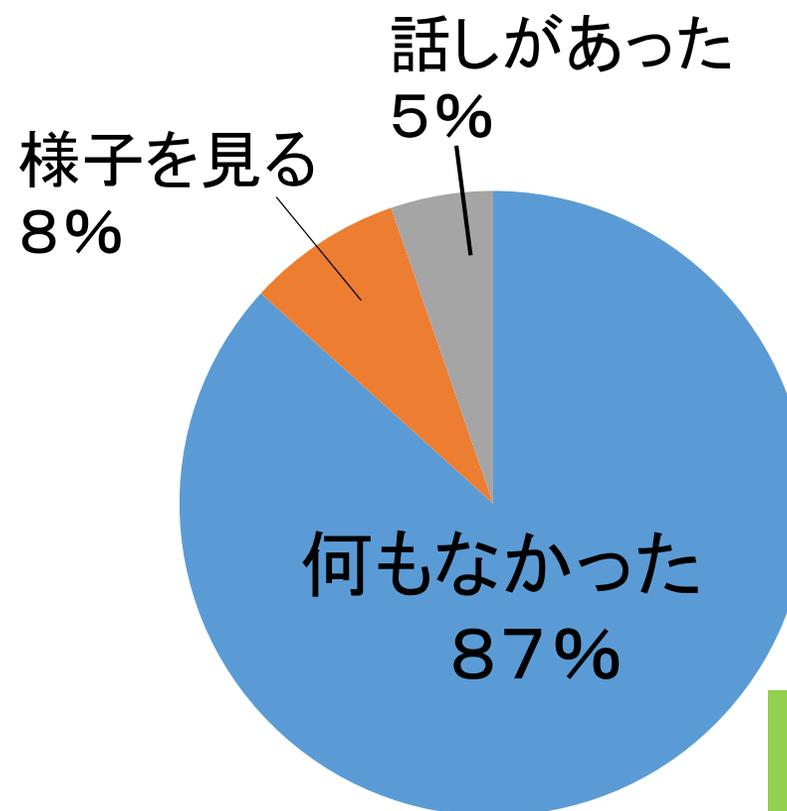
## 3歳児健診について(保護者)

3歳児健診を受診しましたか？



回答者  
4,476人

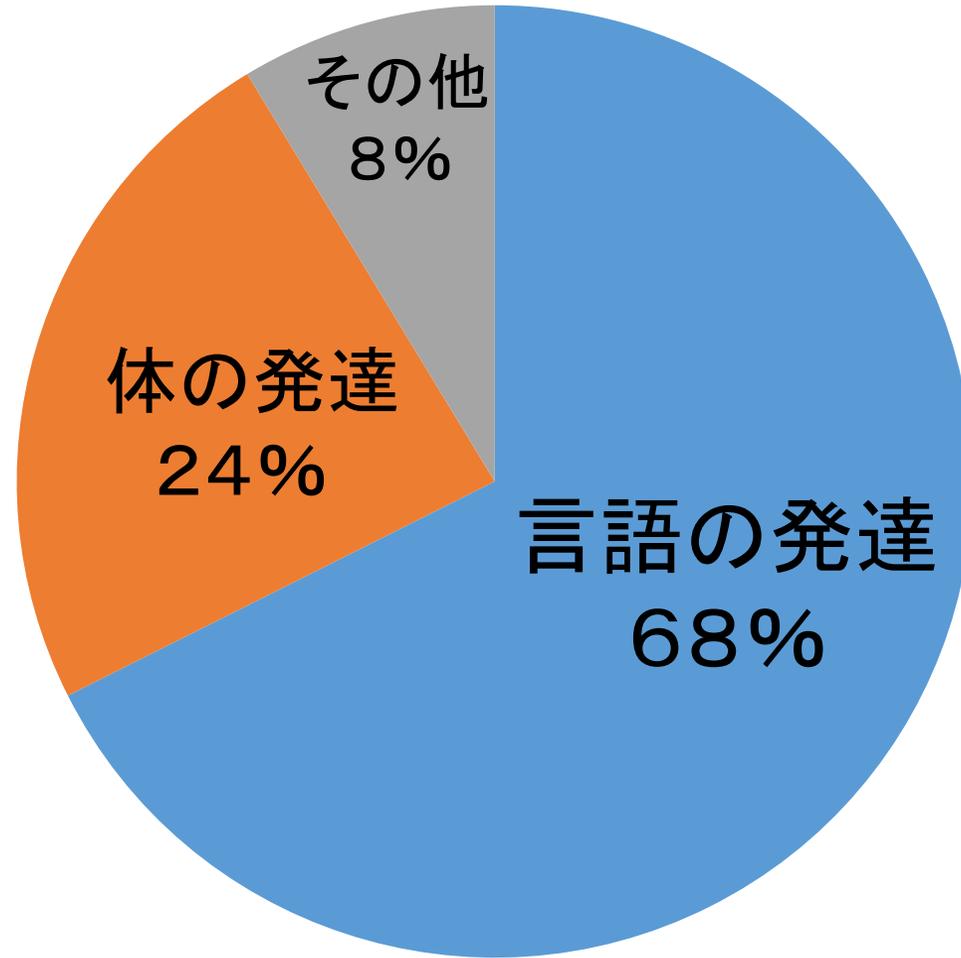
3歳児健診で何かお話がありましたか？



回答者  
4,288人

資料 4

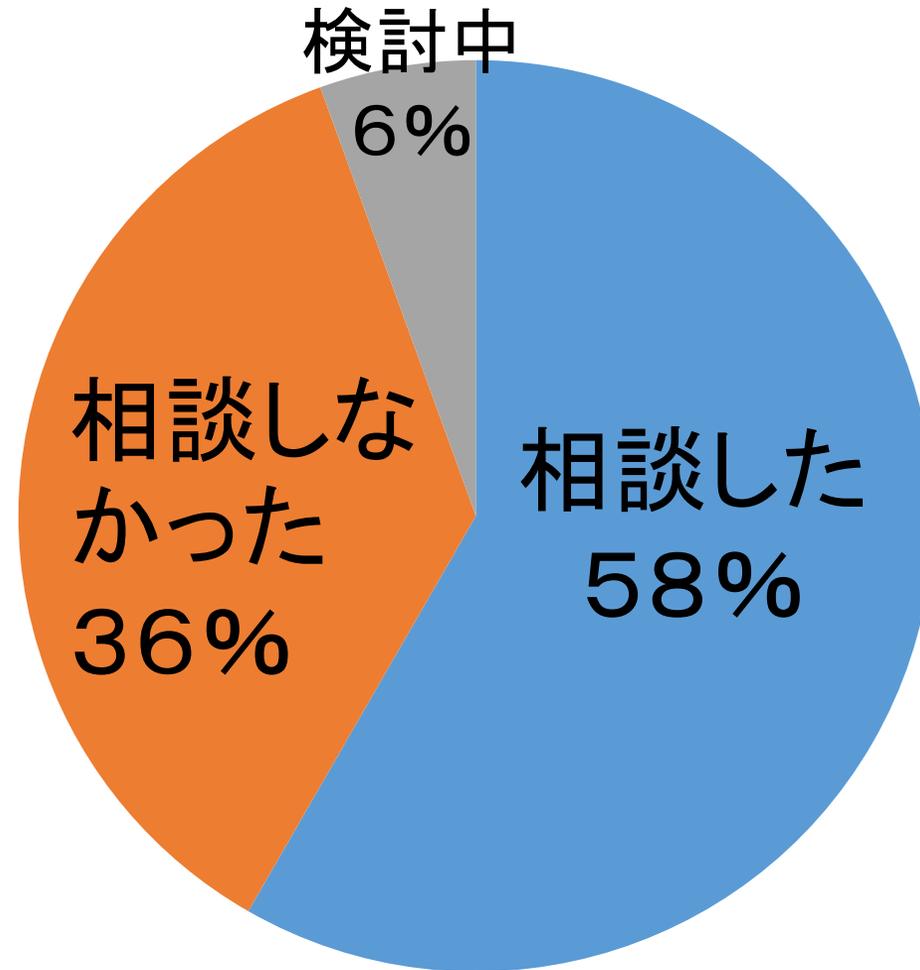
指摘の内容(3歳児健診 保護者)



回答者  
404人

## 資料 5

### 専門機関に相談しましたか？（3歳児健診 保護者）



回答者  
561人

## 資料 6

### 幼稚園回答

気になる行動をする園児数

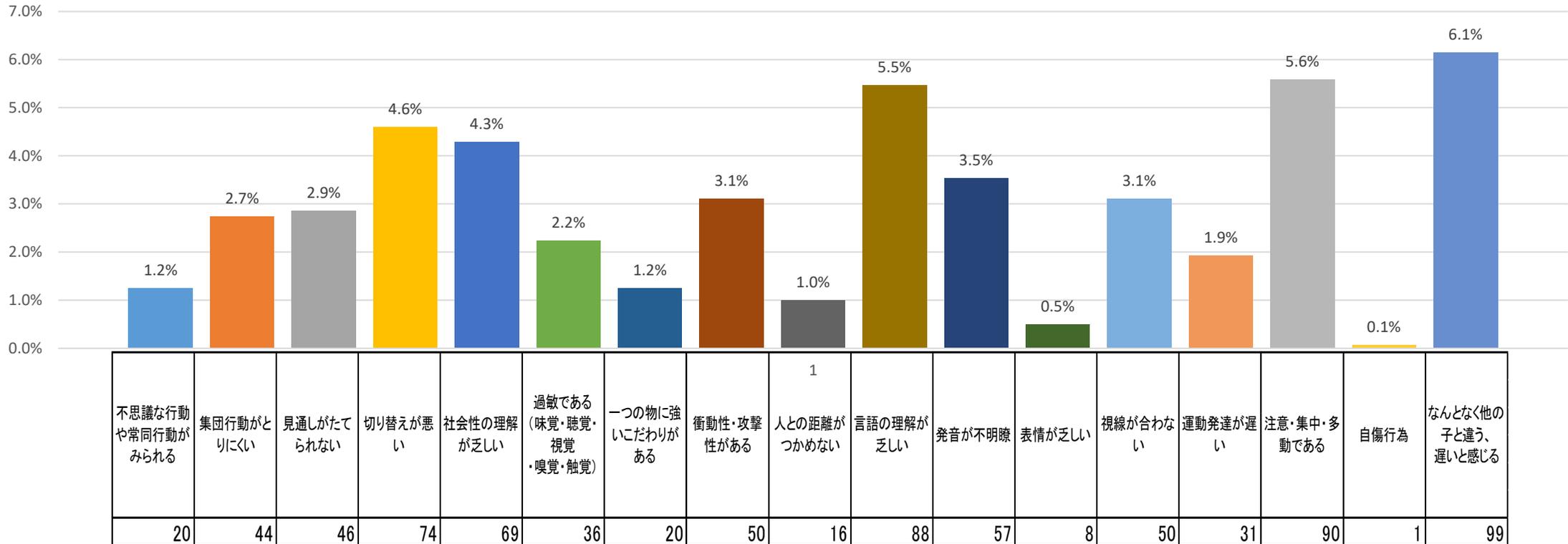
	満3歳児	3歳児
気になる 子の実数	27	167
	10%	12%

気になる行動を保護者は理解しているか

	満3歳児	3歳児
理解して いる保護 者の人数	14	81
	5%	6%

# 資料 7

## 3歳児 気になる行動例 (1,611名中)

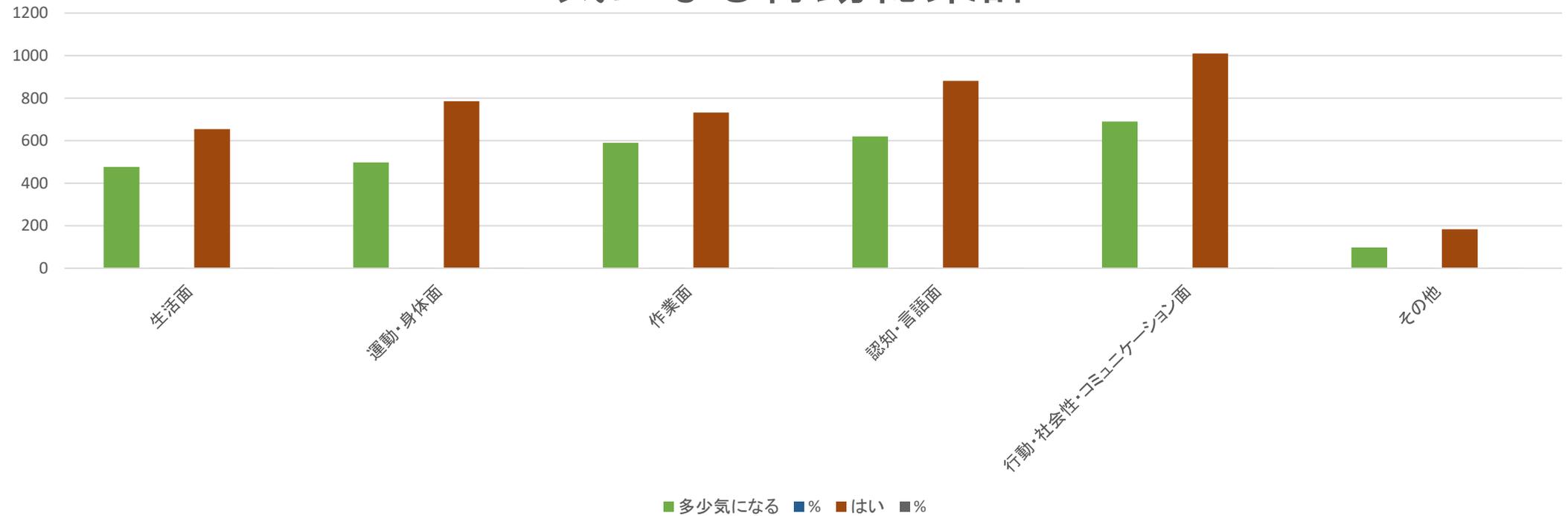


# 資料 8

# 4歳・5歳

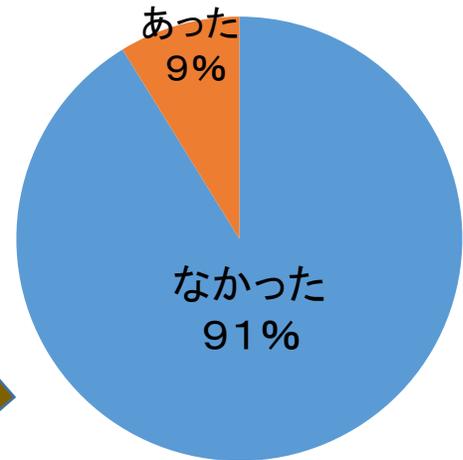
項目	多少気になる	%	はい	%
生活面	477	13%	654	18%
運動・身体面	498	14%	785	22%
作業面	590	16%	732	20%
認知・言語面	620	17%	881	24%
行動・社会性・コミュニケーション面	690	19%	1010	28%
その他	98	3%	183	5%

## 気になる行動総集計



# 資料 9 就学時健診について(年長児保護者)

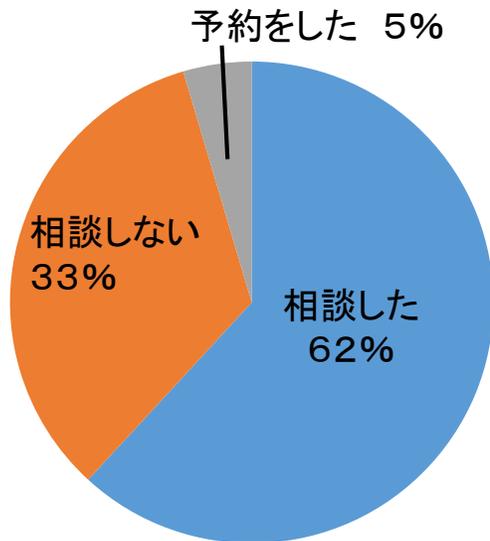
就学時健診でなにか話がありましたか？



回答者  
1,596人

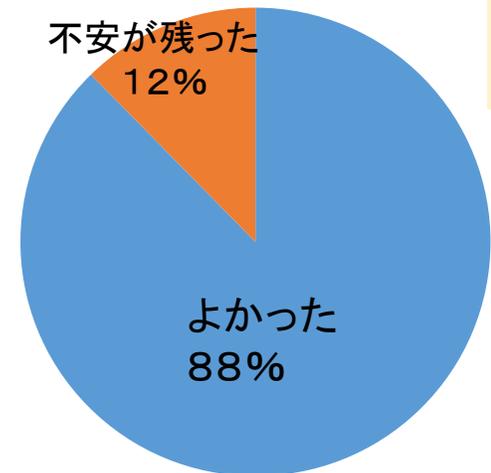
専門機関に相談しましたか？  
(話し合いがあった方)

回答者  
140人



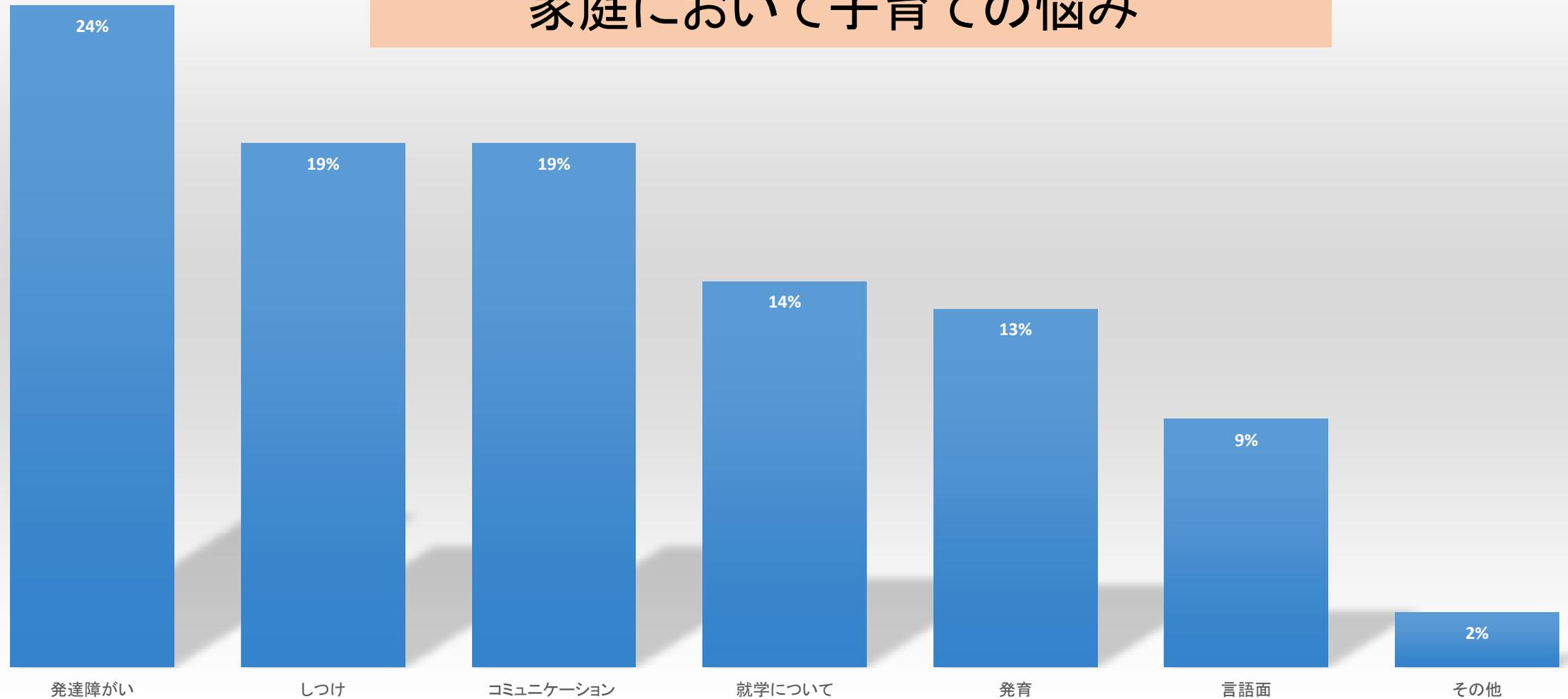
相談した方。相談してよかったですか？

回答者  
81人



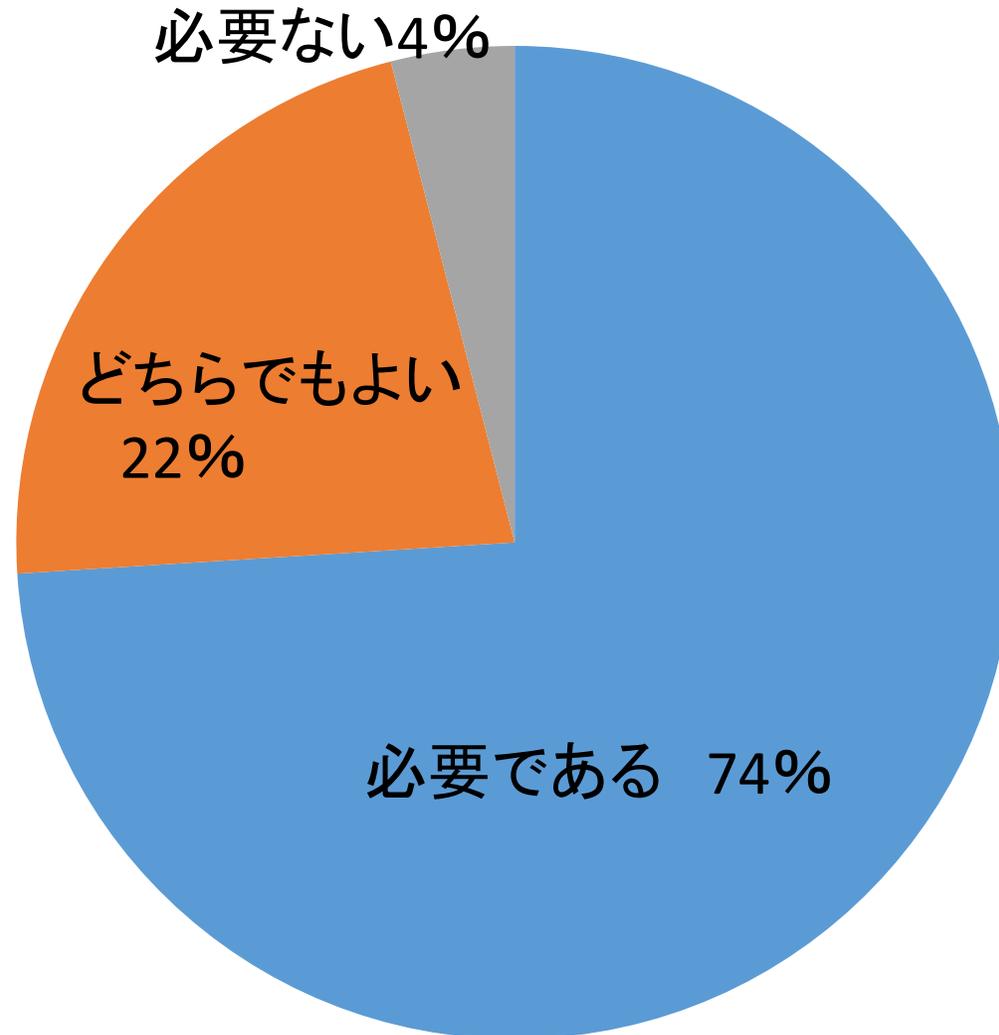
## 資料10

### 就学時健診で何らかの指摘を受けた園児 家庭において子育ての悩み



## 資料11

5歳児健診は必要ですか？（発達障がいにも悩みを持つ保護者）



回答者  
100人